

ひらつか男女共同参画推進協議会から出た意見一覧表

(1) 【資料1】平塚市の現状 に対する意見

番号	担当課	平塚市男女共同参画推進協議会の意見	担当課の回答
10	行政総務課 監査委員事務局 農業委員会事務局	行政委員会の女性割合が低い。0%はもとより、20%未満の委員会も問題と考える。	
15	災害対策課	避難所運営委員会役員に占める女性割合が下がっている。上げるためにはどのような対策が必要か。	各避難所の配備職員（市職員）の女性人数を増やす。また、運営委員会の構成員である、施設管理者、自治会長、地域防災リーダー等の女性割合を増やしてもらうことが必要と考える。
31	職員課	市役所における男性職員の育児休業を取得した7名は、どれくらいの期間取得したのか。	平均：7ヶ月

(2) 【資料2】、【資料3】の令和元年度事業実績及び評価 に対する意見

事業NO	担当課	平塚市男女共同参画推進協議会の意見	検討・訂正する箇所	担当課の回答
2	職員課	管理的地位にある職員に占める女性割合について、R2.4.1現在13.7%となっている。この進捗状況では、令和2年度までの事業目標(20%)は達成できないのではないか。達成評価が「順調」ではなく、「遅滞」が妥当なのではないか。	・令和元年度の事業目的の達成評価及び評価理由	令和2年度までの事業目標に対して、実績値に乖離があり、「遅滞」という評価が妥当であるため変更しました。
3	職員課	女性職員を対象とした研修等の教育訓練における派遣の回数や人数の数値を事業計画(年度)に記載してはどうか。	・令和2年度の事業計画	派遣研修は、女性職員の自主的な参加を前提としており、回数や人数を設定することはなじまないため記載しないこととしています。
4	消防総務課	ミニコミ紙を積極的に活用できると良いと思う。湘南ジャーナルに掲載された記事は効果的で良かったと思う。	意見のみ、検討する箇所は特になし	/
8.3	行政総務課 人権・男女共同参画課	事業8.2の事業実績のとおり、女性委員割合が26.4%と前年度25.7%から微増したが、令和2年度までの目標値である35%には乖離している。事業8.3の次年度への対応のとおり、令和2年度は、附属機関の担当課ではなく、行政総務課と人権・男女共同参画課の職員が推薦母体に対して直接依頼して、附属機関の担当課に引継ぎを行うとともに、意識啓発を働きかけることが効果的だと思う。	意見のみ、検討する箇所は特になし	
11	協働推進課	女性参画の促進について、自治会長のみならず、自治会内の女性にも啓発した方が良いのではないか。地域組織の中で若い世代であるPTA以外は、女性登用が少ない。年配の女性は裏方に回りたがる傾向があり、女性への啓発も必要だと思う。	・令和2年度の事業計画	各種団体が集まる地域の会合の際に意識啓発チラシを配付して、広く自治会内の女性に啓発します。
11	協働推進課	事業の目標、事業計画に、チラシを配付する旨の文言を記載するべきでないか。	・事業の目標(令和2年度まで、令和5年度まで) ・令和2年度の事業計画	事業の目標(令和2年度まで、令和5年度まで)、事業計画に、意識啓発チラシを活用する旨を追記しました。
13	交通政策課	交通安全教室において、資料配布等の時間を確保できなかった原因をしっかりと検証し、以降はそのようなことがないようにして欲しい。	・令和元年度の次年度への対応 ・令和2年度の事業計画	交通安全教室において、冒頭に啓発チラシを配付することで、確実に時間を確保できるようにします。

14	中央公民館	積極的に各種講座が開催されていることは良いと思う。今後、一層の拡充と共に受講者たちをボランティア活動に繋げるアフターフォローがあると、施策6「育児、介護などを社会的に支える環境づくり」や施策19「生涯を通じた健康支援」へ繋がっていくと思う。	意見のみ、検討する箇所は特になし	
16	災害対策課	各訓練における参加者の男女比はどれ位か、また、どの様な方法で男女共同参画意識を醸成したのか。 令和元年度の事業実績の参加者数に男女別の人数を追記してほしい。	・令和元年度の事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 各訓練の参加者の男女比は把握していませんが、女性の視点を活かした研修会における女性参加率は8割でした。 各種防災訓練において、女性目線の避難所の運営や、非常持出用品の検討、マイタイムライン作成等により、意識醸成を図っています。
17	保育課	保育所等への入所については、【参考資料1】平塚市の現状に具体的な数字があるが、一時預かり、ファミリーサポート事業、病後児保育については数字がないので、ニーズにどの程度対応できているか分からない。数字を出すべきでないか。 子ども・子育て支援事業計画で定めているニーズ量や提供量、目標値等を令和元年度の事業実績に追記してほしい。	・令和元年度の事業実績	子育て支援サービスに係る各事業の実績を追記しました。
18	子ども家庭課	放課後等デイサービスについて、ニーズにどの程度対応できているのか。「順調」が妥当な評価なのか。 「順調」という評価の根拠として、子ども・子育て支援事業計画で定めているニーズ量や提供量、目標値等を令和元年度の事業実績に追記してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の事業実績 令和元年度の事業目標の達成評価及び評価の理由 	子ども・子育て支援事業計画に基づき市内放課後等デイサービス事業所を25カ所設置し、適切に支援を行えたため、「順調」が妥当と判断しました。
19	青少年課	学童保育について、ニーズにどの程度対応できているのか。「順調」が妥当な評価なのか。 「順調」という評価の根拠として、子ども・子育て支援事業計画で定めているニーズ量や提供量、目標値等を令和元年度の事業実績に追記してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の事業実績 令和元年度の事業目標の達成評価及び評価の理由 	令和元年度の事業実績（4月時点）は、41クラブ、登録児童数1,760人です。利用希望者全てが入所することができ、待機児童数がゼロにすることができたので「順調」と判断しました。

ひらつか男女共同参画推進協議会から出た意見一覧表

20	地域包括ケア推進課	積極的に各種講座が開催されていることは良いと思う。今後、一層の拡充と共に受講者たちをボランティア活動に繋げるアフターフォローがあると、施策6「育児、介護などを社会的に支える環境づくり」や施策19「生涯を通じた健康支援」へ繋がっていくと思う。	意見のみ、検討する箇所は特になし	
----	-----------	--	------------------	--

ひらつか男女共同参画推進協議会から出た意見一覧表

21	地域包括ケア推進課	家族介護教室について、ニーズはあると思える。参加者が集まらなかったのは、周知方法に問題があったのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の次年度への対応 令和2年度の事業計画 	他の事業との統廃合を含めた事業の見直しにより、令和2年度は年間回数10回を6回へ変更して事業を行い、参加状況を確認します。周知方法については、広報ひらつかへの掲載、チラシの配付等を実施しております。
22	介護保険課	介護事業所について、ニーズにどの程度対応できているのか。「順調」が妥当な評価なのか。「順調」という評価の根拠として、高齢者福祉計画で定めているニーズ量や提供量、目標値等を令和元年度の事業実績に追記してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の事業実績 令和元年度の事業目標の達成評価及び評価の理由 	高齢者福祉計画に基づき介護事業所を開所しており、介護サービスを充実させることができたため、「順調」と判断しました。
28	職員課	月間平均時間外勤務の数値が5月現在で未確定となっているが、時間を要する理由は何か。	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の事業実績 	時間外勤務手当の申請の提出に時間がかかり、集計が間に合わないため時間を要しています。
29	人権・男女共同参画課	宣言者の割合は86.6%と前年度89.9%から3ポイント下がった。次年度への対応のとおり、引き続き研修を実施する他に、「市の組織決定」としての取組であることを周知する、また、未宣言者にはヒアリングを行い、宣言しない理由を明確にするとともに、既に宣言している職員からも働きかけを行えば良いと思う。	意見のみ、検討する箇所は特になし	
30	中央公民館	積極的に各種講座が開催されており良いと思う。今後、一層の拡充と共に受講者たちをボランティア活動に繋げるアフターフォローがあると、施策6「育児、介護などを社会的に支える環境づくり」や施策19「生涯を通じた健康支援」へ繋がっていくと思う。	意見のみ、検討する箇所は特になし	
31	中央公民館	積極的に各種講座が開催されており良いと思う。今後、一層の拡充と共に受講者たちをボランティア活動に繋げるアフターフォローがあると、施策6「育児、介護などを社会的に支える環境づくり」や施策19「生涯を通じた健康支援」へ繋がっていくと思う。	意見のみ、検討する箇所は特になし	
39	人権・男女共同参画課	市ホームページにおいて、イクボス登録企業における「従業員の言葉の紹介」を実施するのは良いことだと思う。	意見のみ、検討する箇所は特になし	
42	人権・男女共同参画課	女性のための無料法律相談について、今後の事業のあり方の検討が必要ということに同意する。	意見のみ、検討する箇所は特になし	

ひらつか男女共同参画推進協議会から出た意見一覧表

<p>54</p>	<p>人権・男女共同参画課</p>	<p>学校でのデートDV防止講座について、中学校からの希望が多く、また高等学校においては、県の事業で同様のものを実施する予定であるため、今後は中学校を重点的に行い、次年度への対応は中学校5校での開催とすることは良いと思う。それに伴い、令和2年度までの事業の目標を「延べ12校」と変更し、令和5年度までの事業の目標を「延べ23校」とすれば良いと思う。</p>	<p>・事業の目標（令和2年度まで、令和5年度まで）</p>	<p>事業の目標（令和2年度まで、令和5年度まで）をそれぞれ、「延べ12校」、「延べ23校」と変更しました。</p>
-----------	-------------------	--	--------------------------------	--